

ショパニスト A 部門

参加者のみなさんへ

結果に関わらず、みなさま大変お疲れ様でした。特にこのコロナ禍において、みなさんの人生において音楽が存在すること、そしてショパンの傑作の美しさを発見するためにこれほど努力されていることを大変嬉しく思います。

多くの方の演奏は、非常に成熟していてプロフェッショナルであり、ショパンのスタイルをよく理解されていると感じました。私たちみんなにとって、自らの技術を高めてくれる手助けとなる重要な要素の一つは、よいバランスだと思います。例えば、ルバートとシンプルさのバランス、自分の技術力に見合った適切な選曲のバランス、細部へ意識を向けながらも全体をまとまりとしてとらえるバランス、そして表情豊かに演奏しながらも明瞭なアーティキュレーションと音の質をコントロールするというバランスなどです。

良い練習というのは、常に自分自身に重要な質問をし続けるということです。例えば、「今練習している作品で自分の一番の課題は何だろうか？ どうやったらそれを最も早く解決することができるだろうか？ どうすればこの音／モチーフ／声部／作品をもっとうまく弾けるだろうか？ 自分の音／アーティキュレーション／表現の質は最善の形だろうか？ どのように指／手首／肩／上半身を使えばもっとうまく弾けるだろうか？」などです。みなさんがショパンの音楽を演奏することで大きな満足を感じられ、新しいレパートリーを発見し、膨大にあるピアノ作品に隠されている感情を他の人たちと共有できるよう、お祈り申し上げます。

幅広い年齢層で多様性に富んだ選曲だったので楽しく聞かせて貰えた。音楽的にも技術的にも完成度の高い演奏が多く感心した。中には独学なのか、楽譜をきちんと読んで頂きたい演奏もあり、残念だった。今後も楽しく続けて頂きたい。

自由曲で思い思いに選択された曲を、コロナ禍ではありますが直向きに音楽と向き合っ弾かれている方が多く感動いたしました。複数曲を弾かれている方はそのプログラミングも興味深かったです。譜面から読みとったものを平坦にならない様に表現する際に、楽譜に書かれていない表現がどこまで許されるのか、その部分だけを切り取って考えるのではなく1曲の中で参加者がどのように配分しながら構成しているのかを考慮して採点させて頂きました。今後も更に、素晴らしいショパンの作品を演奏者個々の表現としてどう向き合っていくのかをテクニック・精神性の両面からアプローチして行って頂きたいと思いました。

みなさまがとてもお上手で驚きました。音色が綺麗なばかりでなく、リズムも正確で、どの演奏も、とても聞き応えある素晴らしい演奏でした。これからもどんどん沢山の作品に挑戦し、素敵な演奏を、みなさまに聴かせてほしいなと思いました。

ショパニスト A 部門を審査させて頂き、日々忙しい中、時間のやりくりをしてピアノに向かう姿を見て嬉しく思いました。それぞれ個性的な世界を作り、自分の世界観で演奏されています。ピアノが好きという気持ちが伝わり、皆さん音の扱いが丁寧でした。が、少し流れの停滞感を感じました。音楽を前に進めていく推進力や、音量の幅等、思い切った表現がもう少し欲しいと思いました。

ショパンの歌心をピアノで演奏するのはとても技術があるのでなめらかに、自分の声のようにピアノを演奏する方が多くいました。技術的に早いところや複雑なメロディなどは、ゆっくりと練習し指がもつれなくなるまで丁寧にさらってください。その上で息づかいを調節しながら自分の歌を追求しましょう。人の演奏を客観的に聞くことにより、自分の耳が素敵なテンポやフレーズをたくさん知るようにすると、演奏も上達すると思います。

皆さんから、音楽がとても好きだというメッセージを動画より拝見できて、元気になりました。どうぞ、これからも音楽を愛していきましょう。

全ての演奏者が自己表現を楽しみ、そして高い技術を持ち合わせている事が素晴らしいです。まず音楽を楽しんでいる様子が伝わり嬉しく思いました。皆さん難易度の高い作品にチャレンジされていますが、余裕を持って弾ける中で表現力を磨かれていく事も大切かと思えます。